

# No. 1 星座早見盤の作成

( )組( )番 氏名( )

## <1>目的

星座早見盤を作成し、その使い方を理解して、実際に星座を観察する。

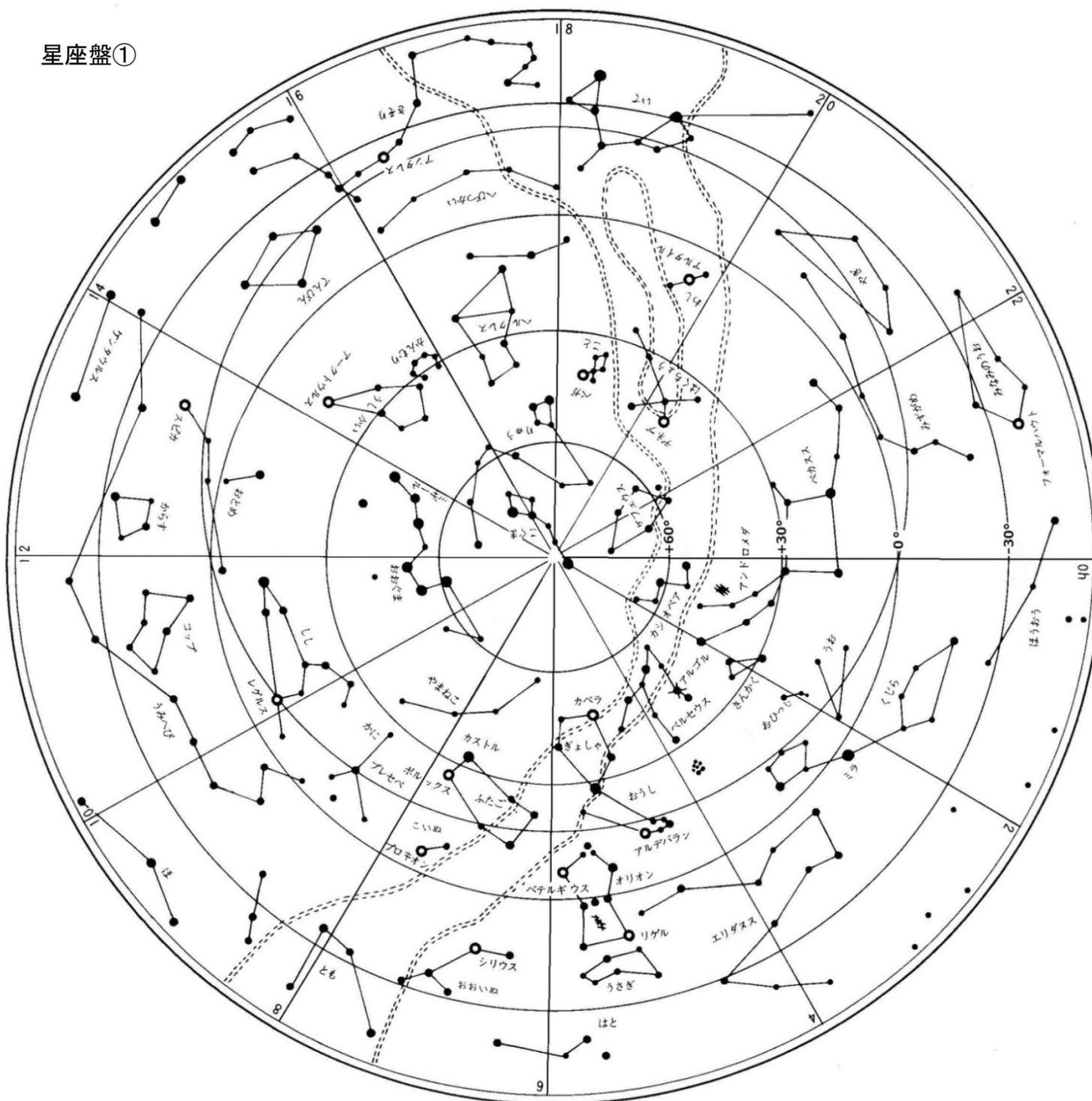
## <2>準備

星座早見プリント3枚、B4厚紙1枚と1/3 はさみ、色鉛筆  
スタックのり、カッター、ビス、 千枚通し、ホッチキス、

## <3>作り方

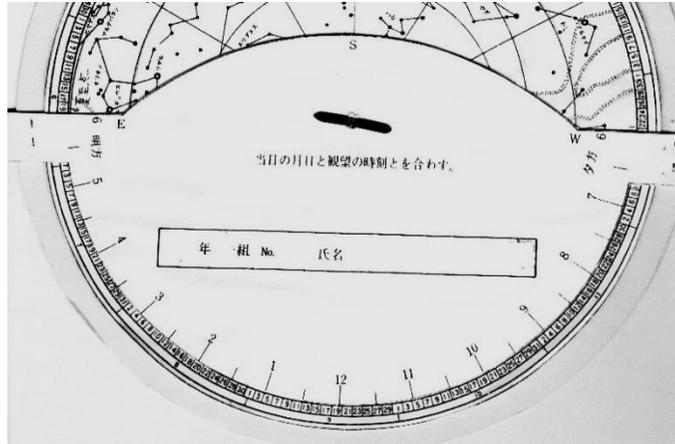
- (1)星座盤①、視界盤を切り抜き、厚紙に貼り付ける。厚紙の対角線上にぎりぎり入る大きさなので注意すること。(あとで視界盤の楕円の内側を切り抜くので、楕円の外側にのりをつけておくこと。)
- (2)貼り付けた星座盤、視界盤を厚紙ごと切り抜く。
- (3)星座盤②を切り抜き、裏表で同じ赤経の線がぴったり重なるように厚紙に張った星座盤の裏側に張り付ける。  
(裏表の赤経の線がずれると、この星座盤は使えません。)
- (4)視界盤の楕円の内側の切り抜く。(カッターを使うときは、必ず厚紙を下に敷くこと。)
- (5)時刻盤を切り、厚紙に張って切り抜く。
- (6)星座盤の天の赤道を赤、黄道を黄、天の川を青でぬる。  
(天の赤道、黄道の位置が裏表で異なるので要注意)
- (7)星座盤の春分点(0h)、夏至点(6h)、秋分点(12h)、冬至点(18h)の位置を黄道上に記入する。

星座盤①

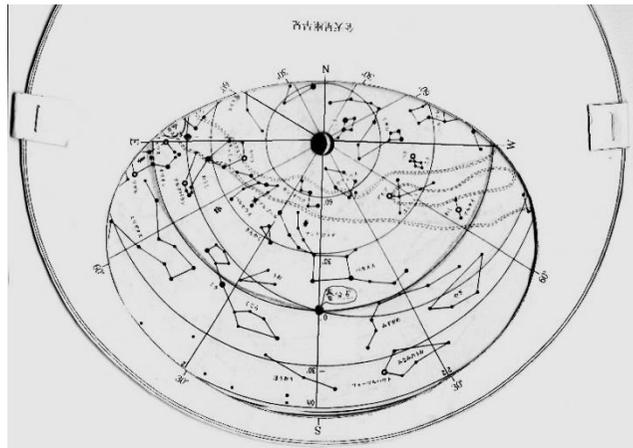


## No. 2

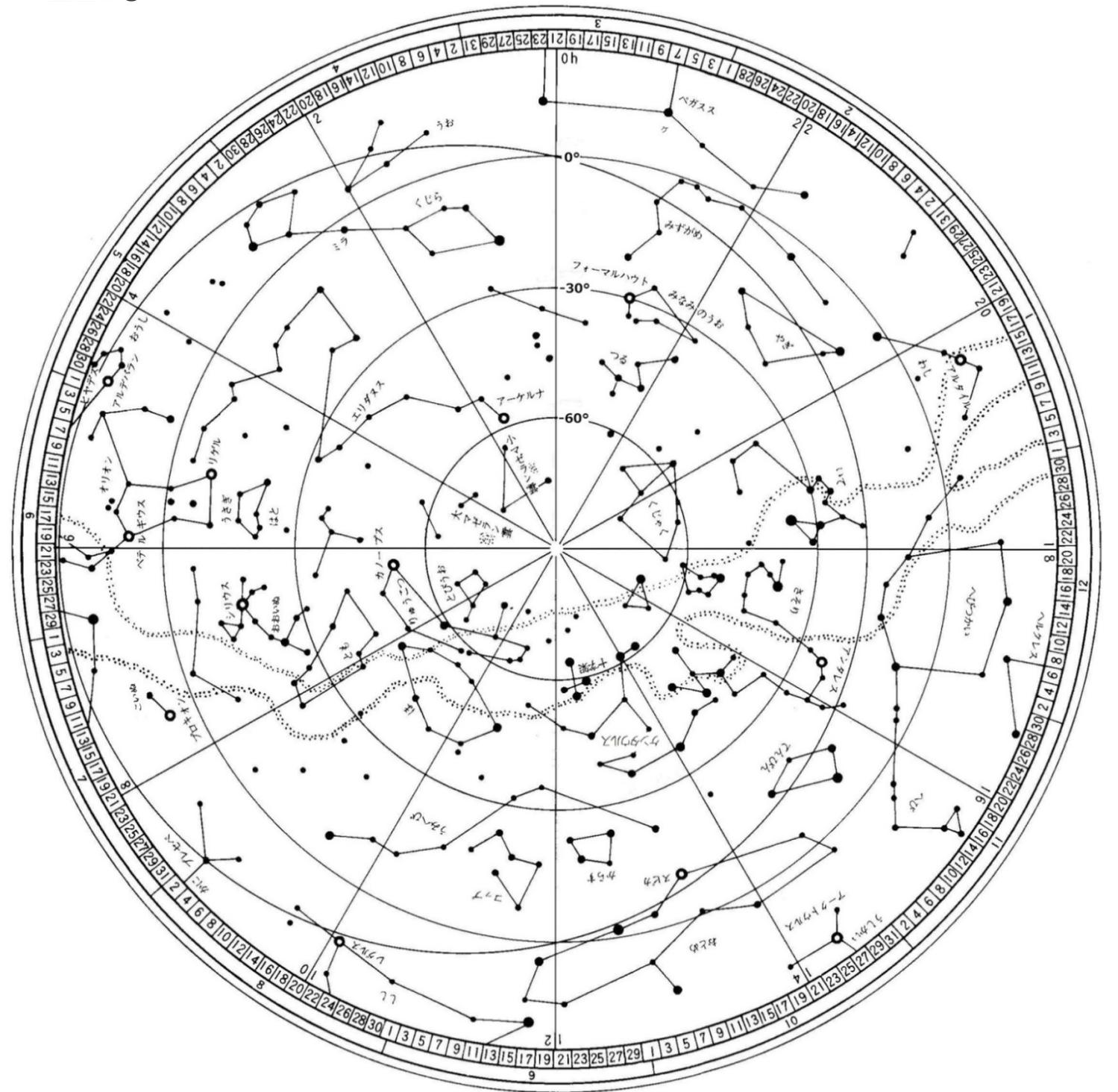
- (8)千枚通しで星座盤の中心と、時刻盤の+のところに穴をあける。  
 (9)星座盤の北天側からビスを通し、時刻盤の重ねて穴を通し、ビスの先を開く。



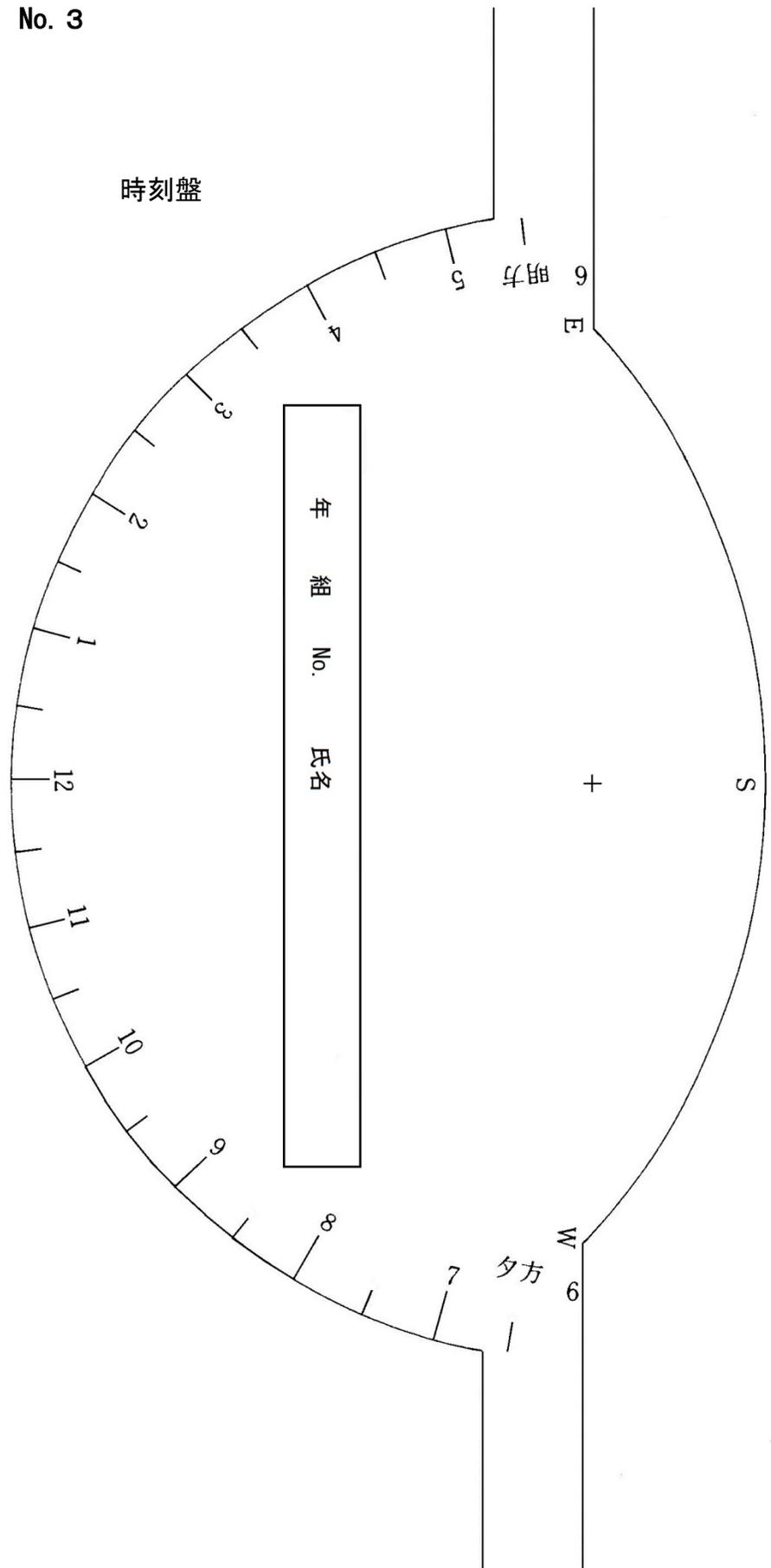
- (10)視界盤を北天側に重ね、図のように、0hの線とS、12hの線とN、6hの線とE、18hの線とWがぴったり合わせ、時刻盤の端を折り曲げ、ポッチキスで止める。(裏表両方春分点が真南Sにある)



## 星座盤②



時刻盤



視界盤

